

J-11 Web データベースシステムの作成

11番 佐井 遥
担当教員 小野 陽子

1. テーマ選定理由

以前から Web データベースに興味があり、何かシステムを作成したかった。担当教員からシステムの概要を提示され、また、就職に必要な技術を身に付けたいと思ったので、今回提出物チェックデータベースを作成することにした。

2. 研究概要

2.1 今までの調査結果

(1) Web データベースとは

今までローカルの PC で動いていたデータベースを HP 上で利用しようとするもの。構成要素は Web サーバ、データベースサーバ、インターフェースプログラムの 3 つからなる。

(2) Web データベースの利点と欠点

利点

- ・分類や整理がやりやすい
- ・アクセス制限がかけられる
- ・メンテナンス性が高い
- ・世界中どこからでもそのデータベースにアクセスできる

欠点

- ・コストがかかる
- ・作成するのに専門的な知識や技術が必要
- ・堅牢なシステムの作成が困難

(3) データベース言語 (SQL)

SQL にはデータの問い合わせや、挿入、更新、削除などの基本命令文、テーブルの構築など数多くの構文が用意されている。

(4) Web サーバソフトウェアの種類

- ・Apache
 - ・IIS
 - ・Netscape Enterprise Server
 - ・Java Web Server
- など

2 . 2 作成するシステム

学生、教員が提出物を確認することを目的とし、提出物をチェックするデータベースを作成する。情報技術科の学生と教員を対象とする。

(1) 作成するシステムの流れ

学生は自分のアカウントでログインし、提出物をアップロードする。

教員が提出物をチェックする。

完了したもの、再提出にマークをつける。再提出にはコメントを書く。

学生が提出状況を確認する。

(2) 追加したい機能

- ・学生は自分の提出物について本人だけがアップロードできる
- ・教員は教科毎に学生全員分を見ることができる
- ・提出するものは人数分を一気に追加できる
- ・チェック欄にはマークと日付を書く
- ・再提出にはコメントをつける
- ・提出期限をすぎたもの、近いものには色をつける

3 . 研究計画

表 1 9月までの研究計画

時期		研究計画
8月	下旬	作成内容を具体的に決める
9月	上旬	提出物チェックデータベースシステムの作成
	下旬	提出物チェックデータベースシステムの作成

4 . その他

現段階において研究概要ははっきりと決まっていないので、変更する可能性がある。